## 福地萬里



1 달실은 마차다 해실은 마차다 청대콩 벌판위에 회파람을 불며불며 저 언덕을 넘어서면 새 세상의 문이있다 황색기층 대륙길에 어서가자

방울소리 울리며 2 백마를 달리던 고구려 쌈터다 파묻힌 성터위에 청노새는 간다간다 저 고개를 넘어서면 새 천지의 종이 운다 あの丘を越えれば 新しい天地の鐘が鳴る 다함없는 대륙길에 빨리가자

방울소리 울리며

3 唄う黑馬(アオ)よ 踊る黑馬よ

胸に鳴る鳴る 血潮の嵐

空は紫(むらさき) 淡雪乘せて

明けゆく曠野の彼方へ 走ろうじやないが P737から引用しました。

月を乗せた馬車だ 太陽を乗せた馬車だ 大豆畑の道を口笛を吹いて

> あの丘を越えれば 新しい世界の門がある 黄色の基層 大陸の道を早く行こう

鈴を鳴らして

白馬が駆けた 高句麗の戦場だ うずもれた城跡を ラバ (騾馬) が行く 果てしない大陸の道を早く行こう

鈴を鳴らして

歌詞の日本語訳は、山根が行いました。

楽譜は歌集「韓国歌謡」(1979年世光出版社)

(終わり)